

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1年		
教科等名	国語	グループ名	1グループ		
ねらい	・日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 ・日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 ・言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。				
担当教員	○弘原海 伸也 木津 秀章				
年間授業時数	70				
使用教科書	東京書籍「国語☆☆☆☆」				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	【聞く・話す】 ・詩や物語を聞き取ろう ・感想を発表しよう	○	・物語の内容を理解する。 ・友達の発表を集中して聞く。 ・友達に聞こえるように話す。	・発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。 ・物語を聞いて、話す事柄を思い浮かべ伝えたいことを決めている。 ・集中して聞き、伝え合おうとしている。	・挿絵の多い本や映像を用意し、イメージしやすくする。
通 年	【書く】 ・正しく文字を書こう	○	・平仮名、片仮名、漢字をそれぞれの段階で正しい形で書く。 ・簡単な例文づくりをする。	・文字の形や筆順に気を付けて書くことができる。 ・文の構成や語句の使い方に気を付けて書いている。 ・文字の読み書きに関心をもってすすんで取り組んでいる。	・日常生活や職場でよく使われる漢字を中心に学ぶ。 ・タブレット端末で調べ学習をする。
通 年	【読む】 ・物語を読もう ・説明文から読み取ろう	○	・物語の音読 ・文章を読み、指示された内容を理解する。	・話のまとまりに気を付けて音読できる。 ・日常生活で必要な語句や文章を読み、内容の大体を捉えている。 ・物語の内容に興味をもち、集中し読もうとしている。	・読みにくい言葉を別途練習する。 ・タブレット端末で挿絵や映像を用意し、イメージしやすくする。
4	・自己紹介をしよう ・正しく聞き取ろう	○	・要点をまとめて発表する。 ・教員、友達の話を聞いて、質問に答える。	・身近な大人や友達とのやり取りを通して、自分のことを伝えることができる。 ・相手や目的に応じた話し方で話している。 ・積極的に人に関わろうとしている。	・記入用紙を準備する。 ・あらかじめ聞き取るポイントを伝える。 ・撮影をして聞き取りやすさを確認する。
5 6 7	・「いつ、だれが、どこで、なにを」 ・主語と述語の使い方 ・「校外学習」を振り返って	○	・短文の作文 ・文章の間違い探し ・校外学習の作文(4Wを意識して)	・主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解している。 ・相手に伝わるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ・経験したことを今後に生かそうとしている。	・4W記入式のワークシートを準備する。 ・書く内容を具体的に整理してから作文できるようにする。 ・映像を見てイメージをもてるようにする。
9 10	・物語を読もう ・感想文を書こう	○	・物語の読解 ・感想文を書き発表する。(図書室の利用方法を知る)	・事柄の順序など、情報と情報との関係を理解できる。 ・情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。 ・印象に残った部分を発表したり、感想を述べたりし個々の感じ方に違いがあることに気付くことができる。	・最初に読み聞かせ、読み方のイメージをもてるようにする。 ・具体的な挿絵などを見ることで、話の流れや内容を分かりやすくする。
11 12	・学習発表会を成功させよう	○	・舞台発表のセリフなどを伝わるように話す。 ・目標を考え、作文などで取り組みを振り返る。	・発音や声の大きさに気を付けて、伝えることを意識して読むことができる。 ・時間の順序や事柄の順序など、内容の大体を捉えている。 ・自分の気持ちや意見を伝えようとしている。	・セリフにラインを引いて見やすくする。 ・カード形式にまとめる。 ・撮影をして自分の様子を確認する。
1 2	・日本の文化に触れよう ・本の紹介をしよう	○	・書初め、カルタなどに取り組む。 ・作品を発表する。	・姿勢や筆の持ち方を意識して書くことができる。 ・文字の構成に気を付けて書いている。 ・日本の文化に親しもうとしている。 ・おすすめポイントを、相手に伝わるようにまとめて発表する。	・取り組みやすい文字数やカルタの数で取り組む。 ・映像で書き順や視覚的に分かりやすくする。
3	・3年生を見送ろう ・1年間のまとめ	○	・卒業のメッセージを作る。 ・メッセージカードを作り、気持ちを伝える。	・丁寧な言葉で相手に伝えることができる。 ・経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容をまとめている。 ・1年を振り返り、来年度へつなげようとしている。	・声の大きさやタイミングを、視覚支援する。 ・絵などの映像でカードの見本を具体的に示す。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	1年	
教科等名	国語		グループ名	2グループ	
ねらい	・言葉の意味を正しく理解し、場面に応じた使い方を知る。 ・自分の気持ちや意見を言葉で伝えたり、相手の話を正しく聞き取ろうとする力を育てる。 ・進んで学習に参加し、表現の楽しさを知ると共にコミュニケーションの力を高める。				
担当教員	○森川 あゆ美 後藤 紗希				
予定授業時数	70				
使用教科書	東京書籍「国語☆☆☆☆」				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	【聞く・話す】 ・聞いたり、発表した りしよう	○	・詩や物語の音読をする ・発表をする	・詩や物語の面白さに気づき、適切な 声の大きさと読み、発表することが できる ・文字を目で追って、正確に読むこ とができる	・興味のもてそうな教 材を用意する ・タブレット端末を使 用し、動画を鑑賞す る
	【書く】 ・正しく文字を書こう		・正しい形で文字を書く ・名前を丁寧に書く	・正確に文字を書く ・自分の名前を大切に思う気持ちを育 てる	・正確に書けるよう に手本を示す
	【読む】 ・詩や物語を読む ・正確に理解しよう		・詩や物語の音読をする ・平仮名や漢字を正確に 読む	・長音、拗音、促音、撥音を正しく読む ことができる ・内容に合った声の大きさと音読する ことができる	・読みにくい言葉を別 途練習する ・ワークシートを使う
4 5	・自己紹介をしよう ・グループの友達や 先生を知ろう		・自分のクラスや名前、好 きなものを発表する ・グループの友達、教員の 名前を読み書きする	・適切な声の大きさと伝わるように発表 することができる ・友達の名前や先生の名前を覚えるこ とができる ・人前で話す時の態度を養う	・発表の後は必ず全 員で拍手するよう促 す
6	・校外学習を振り返 ろう		・作文を書く ・発表をする	・いつ、どこで、だれがを用いて文を書 くことができる ・自分の気持ちや感想を書くことができ る ・丁寧に正確な文を書く	・ワークシートを使用 する ・例文や選択肢を用 意する ・練習用紙と清書用 紙を用意する
7 9	・助詞と形容詞を使 おう	○	・助詞と形容詞を使い文を 作る ・発表をする	・助詞の正しい使い方を学ぶ ・形容詞の語彙を増やし、豊かな表現 の基礎をつくる ・詳しく伝えようとする姿勢を育てる	・映像教材を利用す る ・形容詞カード、助詞 カード等を用意し選 択できるようにする
9 10	・丁寧な言葉 ・今の気持ちを表現 しよう		・敬語への言い換えとロー ルプレイをする	・場面に応じた敬語の使い方を 知る	・いくつかの場面を想 定、提示する
11 12	・学習発表会を成功 させよう	○	・学習発表会舞台発表に 向けての練習を行う	・自分の役割を意識し、タイミングよく 台詞を言うことができる ・場面に応じ、発音や声の大きさを意 識して話す	・録画したのを見 て、自分の発表を客 観的に振り返る
1 2	・かるたを作ろう ・本の紹介をしよう		・オリジナルのかるたを作 成し、遊ぶ ・選んだ本を発表する	・テーマに合ったかるたを作ること ができる ・登場する人や物を発表する	・かるた遊びを体験 し、見通しをもたせる ・ワークシートを使用 する
3	・思い出を書こう		・1年間のまとめの作文を 書く ・発表する	・いつ、どこで、だれがを用いて文を書 くことができる ・自分の気持ちや感想を書くことができ る ・丁寧に正確な文を書く	・ワークシートを使用 する ・例文や選択肢を用 意する ・練習用紙と清書用 紙を用意する

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年		1年	
教科等名		国語		グループ名		3グループ	
ねらい		・日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 ・日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 ・言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。					
担当教員		○青崎 晃司 赤堀 弘樹					
年間授業時数		70					
使用教科書		東京書籍「国語☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫	
通 年	【聞く・話す】 ・詩や物語を聞き取ろう ・感想を発表しよう	○	・物語の内容を理解する。 ・友達の発表を集中して聞く。 ・友達に聞こえるように話す。	・発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。 ・物語を聞いて、話す事柄を思い浮かべ伝えたいことを決めている。 ・集中して聞き、伝え合おうとしている。		・挿絵の多い本や映像を用意し、イメージしやすくする。	
通 年	【書く】 ・正しく文字を書こう	○	・平仮名、片仮名、漢字をそれぞれの段階で正しい形で書く。 ・簡単な例文づくりをする。	・文字の形や筆順に気を付けて書くことができる。 ・文の構成や語句の使い方に気を付けて書いている。 ・文字の読み書きに関心をもってすすんで取り組んでいる。		・日常生活や職場でよく使われる漢字を中心に学ぶ。 ・タブレット端末で調べ学習をする。	
通 年	【読む】 ・物語を読もう ・説明文から読み取ろう	○	・物語の音読 ・文章を読み、指示された内容を理解する。	・話のまとまりに気を付けて音読できる。 ・日常生活で必要な語句や文章を読み、内容の大体を捉えている。 ・物語の内容に興味をもち、集中し読もうとしている。		・読みにくい言葉を別途練習する。 ・タブレット端末で挿絵や映像を用意し、イメージしやすくする。	
4	・自己紹介をしよう ・正しく聞き取ろう	○	・要点をまとめて発表する。 ・教員、友達の話を聞いて、質問に答える。	・身近な大人や友達とのやり取りを通して、自分のことを伝えることができる。 ・相手や目的に応じた話し方で話している。 ・積極的に人に関わろうとしている。		・記入用紙を準備する。 ・あらかじめ聞き取るポイントを伝える。 ・撮影をして聞き取りやすさを確認する。	
5 6 7	・「いつ、だれが、どこで、なにを」 ・主語と述語の使い方 ・「校外学習」を振り返って	○	・短文の作文 ・文章の間違い探し ・校外学習の作文(4Wを意識して)	・主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解している。 ・相手に伝わるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ・経験したことを今後に生かそうとしている。		・4W記入式のワークシートを準備する。 ・書く内容を具体的に整理してから作文できるようにする。 ・映像を見てイメージをもてるようにする。	
9 10	・物語を読もう ・感想文を書こう	○	・物語の読解 ・感想文を書き発表する。(図書室の利用方法を知る)	・事柄の順序など、情報と情報との関係を理解できる。 ・情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。 ・印象に残った部分を発表したり、感想を述べたりし個々の感じ方に違いがあることに気付くことができる。		・最初に読み聞かせ、読み方のイメージをもてるようにする。 ・具体的な挿絵などを見ることで、話の流れや内容を分かりやすくする。	
11 12	・学習発表会を成功させよう	○	・舞台発表のセリフなどを伝わるように話す。 ・目標を考え、作文などで取り組みを振り返る。	・発音や声の大きさに気を付けて、伝えることを意識して読むことができる。 ・時間の順序や事柄の順序など、内容の大体を捉えている。 ・自分の気持ちや意見を伝えようとしている。		・セリフにラインを引いて見やすくする。 ・カード形式にまとめる。 ・撮影をして自分の様子を確認する。	
1 2	・日本の文化に触れよう ・本の紹介をしよう	○	・書初め、カルタなどに取り組む。 ・作品を発表する。	・姿勢や筆の持ち方を意識して書くことができる。 ・文字の構成に気を付けて書いている。 ・日本の文化に親しもうとしている。 ・おすすめポイントが、相手に伝わるようにまとめて発表する。		・取り組みやすい文字数やカルタの数で取り組む。 ・映像で書き順や視覚的に分かりやすくする。	
3	・3年生を見送ろう ・1年間のまとめ	○	・卒業のメッセージを作る。 ・メッセージカードを作り、気持ちを伝える。	・丁寧な言葉で相手に伝えることができる。 ・経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容をまとめている。 ・1年を振り返り、来年度へつなげようとしている。		・声の大きさやタイミングを、視覚支援する。 ・絵などの映像でカードの見本を具体的に示す。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年		1年	
教科等名		国語		グループ名		4グループ	
ねらい		・日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 ・日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 ・言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。					
担当教員		○中村 海 趙 里愛					
年間授業時数		70					
使用教科書		東京書籍「国語☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫	
通 年	【聞く・話す】 ・詩や物語を聞き取ろう ・感想を発表しよう	○	・物語の内容を理解する。 ・友達の発表を集中して聞く。 ・友達に聞こえるように話す。	・発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。 ・物語を聞いて、話す事柄を思い浮かべ伝えたいことを決めている。 ・集中して聞き、伝え合おうとしている。		・挿絵の多い本や映像を用意し、イメージしやすくする。	
通 年	【書く】 ・正しく文字を書こう	○	・平仮名、片仮名、漢字をそれぞれの段階で正しい形で書く。 ・簡単な例文づくりをする。	・文字の形や筆順に気を付けて書くことができる。 ・文の構成や語句の使い方に気を付けて書いている。 ・文字の読み書きに関心をもってすすんで取り組んでいる。		・日常生活や職場でよく使われる漢字を中心に学ぶ。 ・タブレット端末で調べ学習をする。	
通 年	【読む】 ・物語を読もう ・説明文から読み取ろう	○	・物語の音読 ・文章を読み、指示された内容を理解する。	・話のまとまりに気を付けて音読できる。 ・日常生活で必要な語句や文章を読み、内容の大体を捉えている。 ・物語の内容に興味をもち、集中し読もうとしている。		・読みにくい言葉を別途練習する。 ・タブレット端末で挿絵や映像を用意し、イメージしやすくする。	
4	・自己紹介をしよう ・正しく聞き取ろう	○	・要点をまとめて発表する。 ・教員、友達の話を聞いて、質問に答える。	・身近な大人や友達とのやり取りを通して、自分のことを伝えることができる。 ・相手や目的に応じた話し方で話している。 ・積極的に人に関わろうとしている。		・記入用紙を準備する。 ・あらかじめ聞き取るポイントを伝える。 ・撮影をして聞き取りやすさを確認する。	
5 6 7	・「いつ、だれが、どこで、なにを」 ・主語と述語の使い方 ・「校外学習」を振り返って	○	・短文の作文 ・文章の間違い探し ・校外学習の作文(4Wを意識して)	・主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解している。 ・相手に伝わるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ・経験したことを今後に生かそうとしている。		・4W記入式のワークシートを準備する。 ・書く内容を具体的に整理してから作文できるようにする。 ・映像を見てイメージをもてるようにする。	
9 10	・物語を読もう ・感想文を書こう	○	・物語の読解 ・感想文を書き発表する。(図書室の利用方法を知る)	・事柄の順序など、情報と情報との関係を理解できる。 ・情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。 ・印象に残った部分を発表したり、感想を述べたりし個々の感じ方に違いがあることに気付くことができる。		・最初に読み聞かせ、読み方のイメージをもてるようにする。 ・具体的な挿絵などを見ることで、話の流れや内容を分かりやすくする。	
11 12	・学習発表会を成功させよう	○	・舞台発表のセリフなどを伝わるように話す。 ・目標を考え、作文などで取り組みを振り返る。	・発音や声の大きさに気を付けて、伝えることを意識して読むことができる。 ・時間の順序や事柄の順序など、内容の大体を捉えている。 ・自分の気持ちや意見を伝えようとしている。		・セリフにラインを引いて見やすくする。 ・カード形式にまとめる。 ・撮影をして自分の様子を確認する。	
1 2	・日本の文化に触れよう ・本の紹介をしよう	○	・書初め、カルタなどに取り組む。 ・作品を発表する。	・姿勢や筆の持ち方を意識して書くことができる。 ・文字の構成に気を付けて書いている。 ・日本の文化に親しもうとしている。 ・おすすめポイントを、相手に伝わるようにまとめて発表する。		・取り組みやすい文字数やカルタの数で取り組む。 ・映像で書き順や視覚的に分かりやすくする。	
3	・3年生を見送ろう ・1年間のまとめ	○	・卒業のメッセージを作る。 ・メッセージカードを作り、気持ちを伝える。	・丁寧な言葉で相手に伝えることができる。 ・経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容をまとめている。 ・1年を振り返り、来年度へつなげようとしている。		・声の大きさやタイミングを、視覚支援する。 ・絵などの映像でカードの見本を具体的に示す。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。